

## 仲間と学ぶ宿泊体験活動 下松市立久保中学校

### 学校の概要

#### ① 学校規模

- 学級数：11学級
- 生徒数：331人
- 教職員数：21人
- 活動の対象学年：1年生・109人

#### ② 体験活動の観点などからみた学校環境

- 下松市の東北部に位置し、国道2号線岩国～周南（旧徳山）間の沿道にあり、JR岩徳線周防久保駅が校区内にある。
- 農村・住宅地からなり、豊かな自然に恵まれた地域である。
- 昔からある農村地帯の久保小学校と新興住宅地域にできた新しい東陽小学校の2つの小学校から入学してくる。
- 地域の行事やボランティア活動も盛んで中学生も積極的に参加している。

#### ③連絡先

- 〒744-0041  
下松市山田122
- 電話：0833-46-0712
- FAX：0833-46-3908
- ホームページ：<http://sky.ycbi.ne.jp/~kubojs/index.htm>
- 電子メール：[kubojs@ycbi.ne.jp](mailto:kubojs@ycbi.ne.jp)

### 体験活動の概要

#### ① 活動のねらい

- 活動全体のねらい  
1学期に仲間と共に集団宿泊体験を通して学んだことを、2学期以降の福祉体験活動に生かし、生徒一人ひとりに豊かでたくましい心を育てる。
- 自然に対する体験学習のねらい  
学校や家庭を離れ、生徒一人ひとりの主体性を基盤とし、大自然の中での集団宿泊や感動体験、人間関係づくりに係る活動を通して、豊かでたくましい心を育む。
- 福祉に対する体験学習のねらい  
相手の気持ちを理解し、進んで社会奉仕をしていこうとする心を育てるとともに、生徒自らが課題を見つけ、主体的に調査し、体験することを通して互いの考えや意見を伝える力を養う。

#### ② 活動内容と教育課程上の位置付け

- 徳地宿泊研修（2泊3日）  
（自然に対する体験学習：特別活動18単位時間、道徳1単位時間、総合的な学習の時間10単位時間）
- 福祉体験学習（1日）  
（福祉に対する体験学習：特別活動8単位時間、総合的な学習の時間22単位時間）

### 1 活動に関する学校の全体計画

#### ○ 活動のねらい

- ・活動全体のねらい

1学期に仲間と共に集団宿泊体験を通して学んだことを、2学期以降の福祉体験活動に生かし、生徒一人ひとりに豊かでたくましい心を育てる。

・自然に対する体験学習のねらいと重点

学校や家庭を離れ、生徒一人ひとりの主体性を基盤とし、大自然の中での集団宿泊や感動体験、人間関係づくりに係る活動を通して、豊かでたくましい心を育む。

推進2年目となる本年度は、昨年度の成果と課題を踏まえ、次のことに重点を置いた。

事前指導の工夫・充実 健康・安全面の配慮	信頼体験、成功体験の重視 評価活動の工夫・充実
-------------------------	----------------------------

・福祉に対する体験学習のねらいと重点

相手の気持ちを理解し、進んで社会奉仕をしようとする心を育てるとともに、生徒自らが課題を見つけ、主体的に調査し、体験することを通して互いの考えや意見を伝える力を養う。

推進2年目となる本年度は、昨年度の成果と課題を踏まえ、次のことに重点を置いた。

活動のイメージを広げる工夫 生徒の主体的活動の支援	豊かな体験活動の場の設定
------------------------------	--------------

○ 全体の指導計画

- ・ 活動の名称 「仲間と学ぶ宿泊体験学習」
- ・ 実施学年 1年生 109名
- ・ 内容と教育課程上の位置付け

徳地宿泊研修（特別活動・総合的な学習の時間）

日 時	研 修 内 容
5月25日（金）	研修1 30kmロングウォーク 研修2 振り返り
5月26日（土）	研修3 徳地・アドベンチャープログラム 研修4 和紙すき体験 研修5 キャンドルサービス 学級レクレーション 親への手紙
5月27日（日）	研修6 野外炊飯 研修7 学級対抗長縄飛び大会
6月上旬	研修8 研修終了後の体験文集作り

福祉体験学習（特別活動・総合的な学習の時間）

日 時	研 修 内 容
11月30日（金）	研修1 福祉体験学習ガイダンス
12月 7日（金）	研修2 福祉についての講話（外部講師）
冬 休 み	研修3 個人テーマ設定と課題追求 レポート作成
1月 9日（水）	研修4 冬休み福祉体験学習レポート発表会
1月15～17日	研修5 生徒による事前打ち合わせ
1月24日（木）	研修6 福祉体験学習（1日）
2月19日（火）	研修7 福祉体験のまとめ・発表会

## 2 活動の実際

### ○ 事前指導

徳地宿泊研修
・オリエンテーション
・スローガンの決定 横断幕作り
・ロングウォークマップ作り
・学級レクリエーション練習
・健康相談・保健指導

福祉体験学習
・オリエンテーション
・福祉についての講話（外部講師）
・課題設定 課題追求 レポート作成
・レポート発表会
・生徒による事前打ち合わせ

### ○ 活動の展開

前述の全体指導計画の研修内容を実施した。

【徳地宿泊研修】（研修1～研修7）

【福祉体験学習】（研修6）



### ○ 事後指導

【徳地宿泊研修】

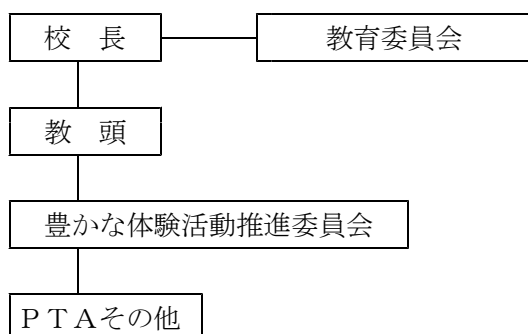
- ・体験活動の感動を1枚の絵日記にまとめる。 振り返りの様子 アドベンチャープログラム
- ・体験活動の感動を文集としてまとめる。
- ・ロングウォークの感動を川柳として発表する。
- ・今後の新たな決意を横断幕に書き、掲げる。（現在も学年廊下に常掲）

【福祉体験学習】

- ・感謝の気持ちを礼状に表現する。
- ・福祉体験学習発表会を開催し、学んだことを友だちや保護者に発信する。
- ・活動全体で学んだことを作文にまとめる。

## 3 体験活動の実施体制

(1) 学校としての推進体制



(2) 学校支援委員会

勤務先・機関・団体名	職名
下松市教育委員会	指導主事
国立徳地少年自然の家	企画指導主事
久保中学校PTA	学級委員
久保中学校PTA	学級委員
久保中学校	校長
久保中学校	教頭
久保中学校1年部	教諭

計画段階より下松市教育委員会の指導主事や国立徳地少年自然の家の企画指導主事に携わっていただき、充実した体験学習を実施することができた。また、自然の家主催の徳地アドベンチャープログラムの事前講習会に1年部2名の教諭が参加し、研修を深めることができた。

#### 4 体験活動の評価の工夫と指導の改善

- 体験活動後の生徒同士の意見交換を充実させることで、相互理解がより深まった。
- 自分を見つめ直す時間を設定し、活動の反省や手紙を書かせることで、自己への新たな気づきや家族等への感謝の気持ちをあらためて感じる事ができた。
- 福祉体験学習発表会を保護者を招いて開催し、体験したことを様々な方法で伝える力が伸びた。

#### 5 活動の成果と課題

##### ○ 成果

1学期に行われた徳地宿泊研修では、自然あふれる環境と施設の中、「絆・きまりを守り、ずっとなかよく、なにがあってもあきらめない」のスローガンのもと、ロングウォーク・アドベンチャープログラムなどに取り組んだ。1年次は教師先導の行軍形ロングウォークでの達成感を味わせた。2年次はグループでのロングウォークを実施し、より生徒同士の葛藤場面が多くなるように設定した。その結果、振り返りの時間では、「つらく、くじけそうになった時の友人が励ましてくれた。」「みんなで勇気づける歌を歌いながら歩いた。」「みんなで手をつないでゴールした時、涙が出るくらいうれしかった。」など、生徒同士の絆が深まったことが感じられる発言が数多く出た。さらに、徳地アドベンチャープログラムでグループの仲間と協力して課題に挑戦することによって、より深い人間関係を構築することができた。



スローガンの横断幕と集合写真

2学期以降の福祉体験学習では、徳地宿泊研修で身に付けた力が体験する施設ごとのグループで発揮されるような活動を仕組んだ。その一つが各グループの班長が体験を行う施設に事前打ち合わせに訪問するという交流場面を設定したことである。グループの仲間と協力して準備をし、体験し、発表する活動を通して、社会奉仕の心とともに、互いの考えや意見を伝える力を養うことができたと考える。



福祉体験学習発表会

##### ○ 課題

体験の時間を長くすることで、活動が豊かになり、生徒一人ひとりに豊かでたくましい心が育まれたのではないかと思う。第2学年で実施した職場体験学習も今年度より日数を延長し、大きな効果を上げることができた。今後は、他教科等との関連や教育課程上での位置づけをさらに明確にしていくとともに、活動で学んだことを家庭や地域での生活に還元していくことも課題の一つである。